

★ 果樹カメムシ類(チャバネアオカメムシ等) 情報 ★

予察灯・フェロモントラップへの誘殺が増えています。

モモ、ウメ、ナシ、カキ、カンキツ等では今後の発生に注意してください。



チャバネ
アオカメムシ

ツヤアオ
カメムシ

クサギ
カメムシ

発生状況

- (1) 昨年12月に採取したチャバネアオカメムシの越冬量は、京都市及び南丹地域は平年並、丹後地域は平年比やや多い状況でした(表1)。
- (2) チャバネアオカメムシの予察灯(BL20W)における誘殺数は、京田辺市、亀岡市、京丹後市のいずれの地点も平年比多く(表2)、フェロモントラップでは、京田辺市は平年並で亀岡市は平年比やや多く、京丹後市は平年比多くなっています(表3)。
- (3) ツヤアオカメムシの予察灯(BL20W)における誘殺数は、京田辺市、亀岡市、京丹後市のいずれの地点も平年比多く(京丹後市は例年比)なっています(表4)。
- (4) クサギカメムシの予察灯(BL20W)における誘殺は、いずれの地点でも認めていません(平年並)。

表1 チャバネアオカメムシの越冬状況

採取：令和元年12月9、11日

地域	本年	平年値
京都市及び南丹地域	0.20	0.40
京丹後市	0.50	0.36

※平均生存個体数(頭/地点)

表3 チャバネアオカメムシの

フェロモントラップへの誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	1.0	1.3
亀岡市	66.0	23.1
京丹後市	13.0	4.2

※誘殺数：5月第1半旬～5月第5半旬の合計値

表2 チャバネアオカメムシの

予察灯(BL20W)への誘殺状況

場所	本年	平年値
京田辺市	33	4.8
亀岡市	51	1.7
京丹後市	28	10.0

※誘殺数：5月第1半旬～5月第5半旬の合計値
BL20W：ブラックライト 20W への飛来数

表4 ツヤアオカメムシの

予察灯(BL20W)への誘殺状況

場所	本年	平年(例年)値
京田辺市	13	2.1
亀岡市	2	0.2
京丹後市	4	(0.1)

※誘殺数：5月第1半旬～5月第5半旬の合計値

防除上の注意事項

- (1) ナシ、モモなどの有袋栽培では幼果の被害を防ぐために、早めに袋掛けを行いまししょう。
- (2) 特に、山林等の隣接園では注意が必要です。カメムシ類は局地的に発生し被害をもたらすこともあるので、園内外の成虫発生状況をこまめに観察し、発生を認めたら早めに防除してください。
- (3) カメムシ類は、夜温が高く風の弱い日の日没頃に多く飛来するので、そのような日の夕方に薬剤散布を行うと効果的です。
- (4) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避けてください。
- (5) 防除薬剤を使用する際は、使用基準を厳守してください。